

京都女子大学  
Fact Book2019



# CONTENTS

● 在籍者・入学者・志願者状況	2
● 入学者の状況	4
● 教育に関する情報	5
● グローバル	7
● 学生生活	8
● 教員	9
● 資格・免許取得状況	10
● 進路・就職	11
● 社会貢献	13
● アンケート・調査からみる京女生の実態	14

## 〈学科専攻名称一覧〉

正式名称	略称名
文学部 国文学科	国文
文学部 英文学科	英文
文学部 史学科	史学
発達教育学部 教育学科 教育学専攻	教育
発達教育学部 教育学科 心理学専攻	心理
発達教育学部 教育学科 養護・福祉教育学専攻	養福 <sup>(※1)</sup>
発達教育学部 教育学科 音楽教育学専攻	音楽
発達教育学部 児童学科	児童
家政学部食物 栄養学科	食物
家政学部生活 造形学科	造形
家政学部生活 福祉学科	福祉 <sup>(※2)</sup>
現代社会学部 現代社会学科 現代社会専攻	現社 <sup>(※3)</sup>
現代社会学部 現代社会学科 国際社会専攻	国際
現代社会学部 現代社会学科 情報システム専攻	情報
法学部 法学科	法学

※1 2019年4月設置。本書では学科専攻別データは卒業生データのみを掲載しているため、本書のグラフ上は掲載なし。

※2 2019年4月に発達教育学部教育学科養護・福祉教育学専攻に改組。

※3 2018年4月より現代社会学科が3専攻制（現代社会専攻・国際社会専攻・情報システム専攻）に改組。本書では学科専攻別データは卒業生データのみを掲載しているため、本書のグラフ上は掲載なし。

# 在籍者・入学者・志願者状況

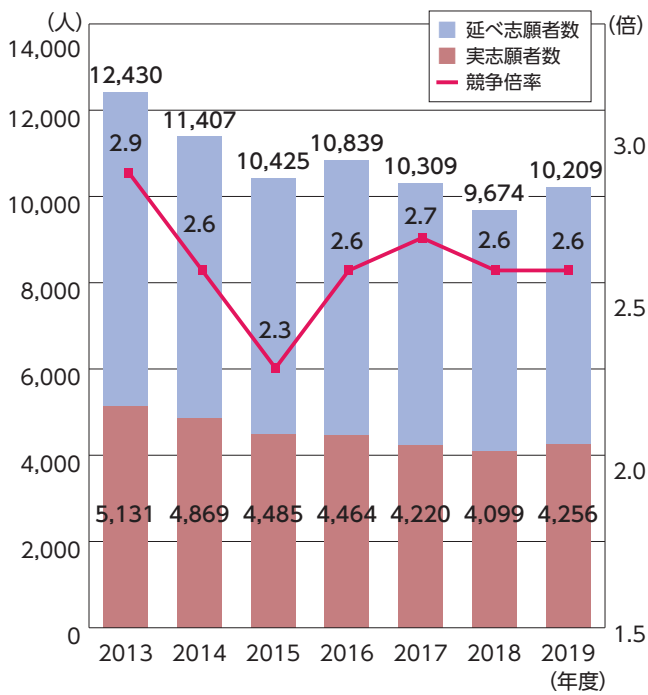
## 在籍者数

学部名	1回生	2回生	3回生	4回生	5回生以上 (留年者数)	合計	休学者数	退学者数 <sup>(※)</sup>	退学率 <sup>(※)</sup>
文学部	389	363	366	417	52	1,587	34	20	1.2%
発達教育学部	347	305	308	314	15	1,289	8	5	0.4%
家政学部	241	297	301	302	19	1,160	9	6	0.5%
現代社会学部	305	290	316	256	23	1,190	17	12	1.0%
法学部	109	124	112	122	10	477	8	10	2.0%
合計	1,391	1,379	1,403	1,411	119	5,703	76	53	0.9%

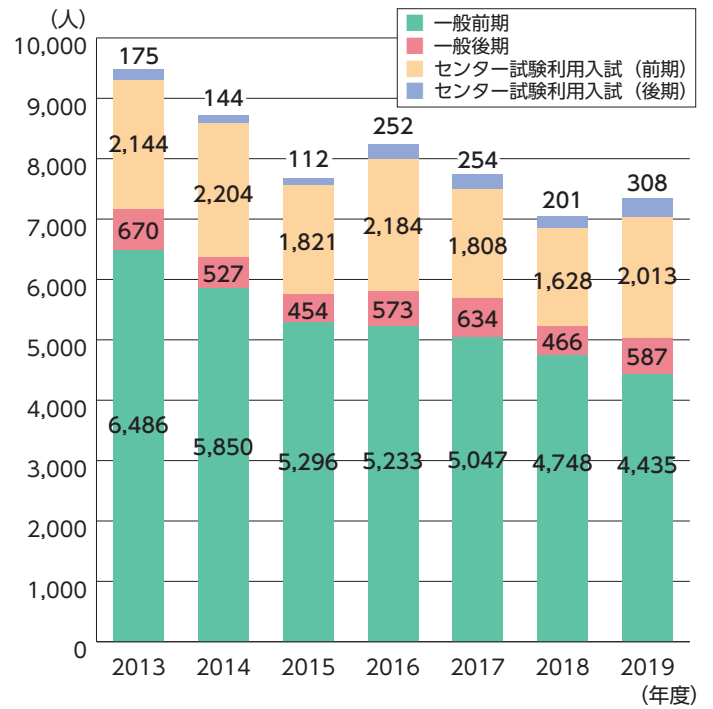
※2018年度値

研究科名	人数
文学研究科	25
発達教育学研究科	22
家政学研究科	29
現代社会研究科	5
法学研究科	2
合計	83

## 志願者数推移 (2013～2019)

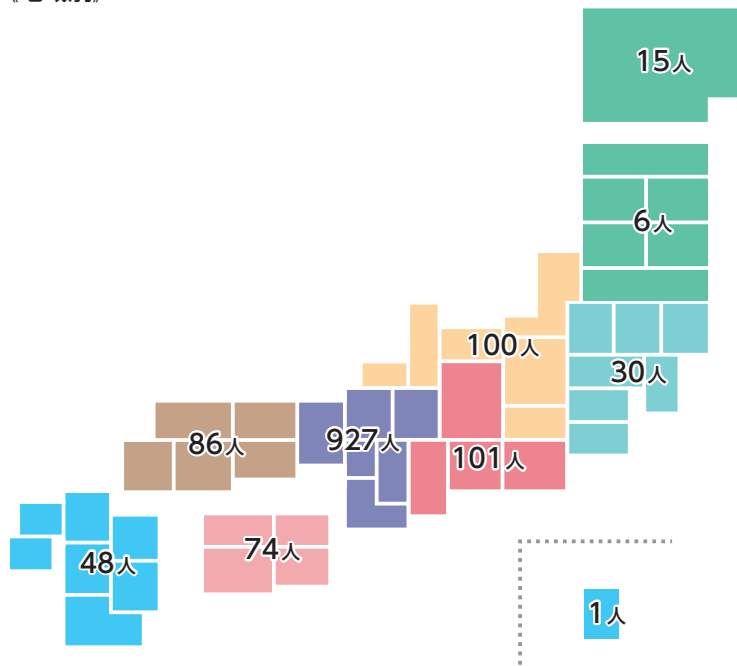


## 志願者状況 (一般入試・センター試験利用入試)



## 2019年度入学者の出身高校所在地別学生数 (人)

### 《地域別》

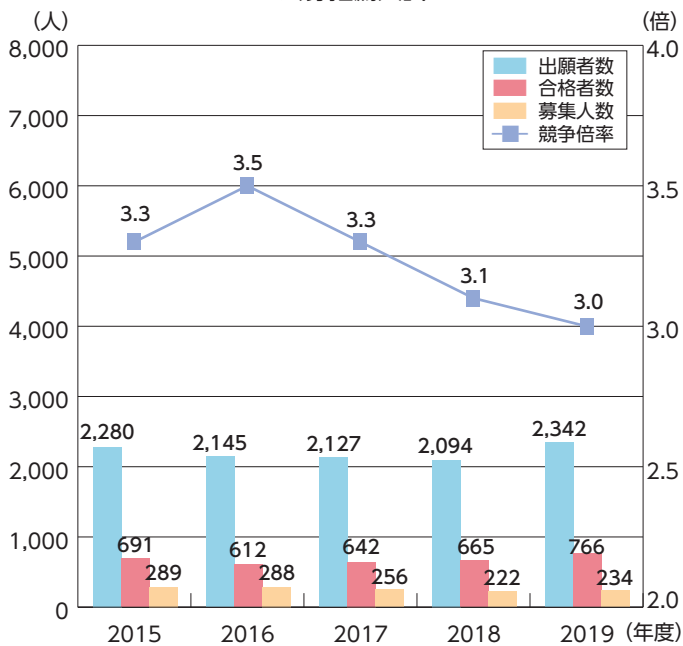


### 《都道府県別》

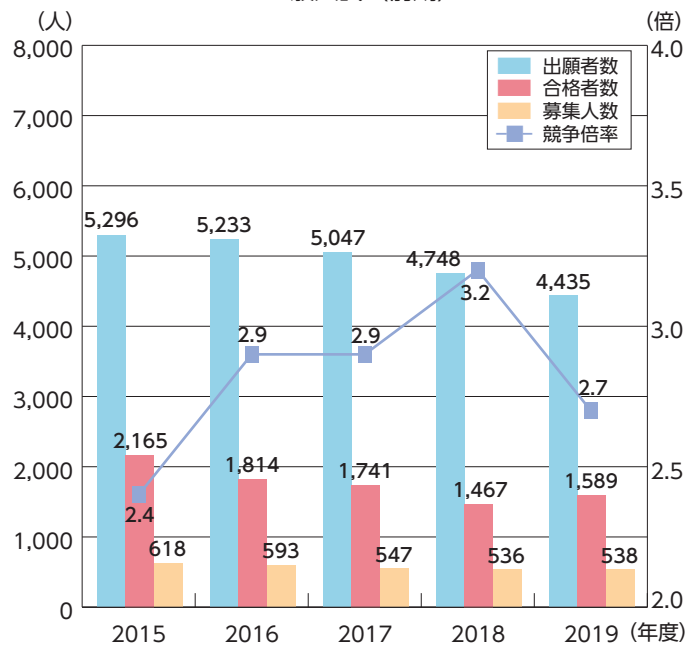
北海道	15	京都府	280
青森県	1	大阪府	344
宮城県	4	兵庫県	92
秋田県	1	奈良県	88
茨城県	10	和歌山県	29
栃木県	3	鳥取県	15
群馬県	1	島根県	6
埼玉県	2	岡山県	32
千葉県	1	広島県	20
東京都	10	山口県	13
神奈川県	3	徳島県	12
新潟県	6	香川県	33
富山県	24	愛媛県	24
石川県	18	高知県	5
福井県	37	福岡県	23
山梨県	4	佐賀県	3
長野県	11	長崎県	5
岐阜県	10	熊本県	3
静岡県	42	大分県	9
愛知県	32	鹿児島県	5
三重県	17	沖縄県	1
滋賀県	94	離島・海外	3
合計	1,391		

# 入試区分別

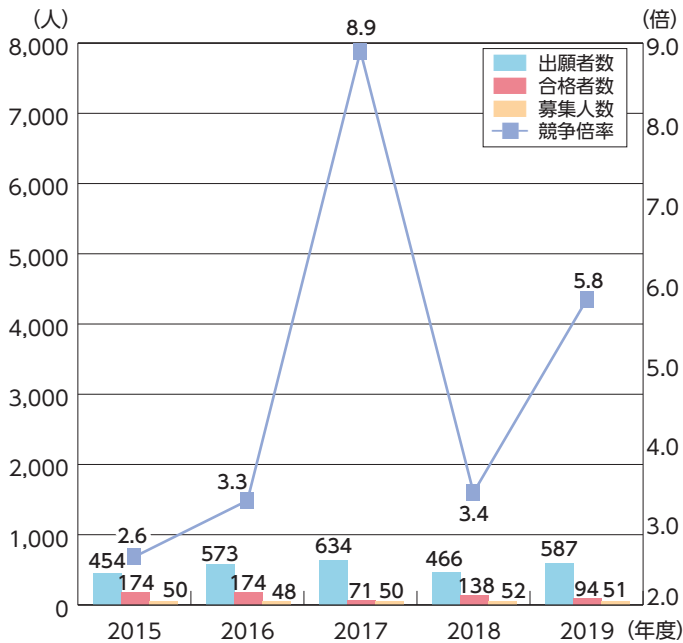
## 公募推薦入試



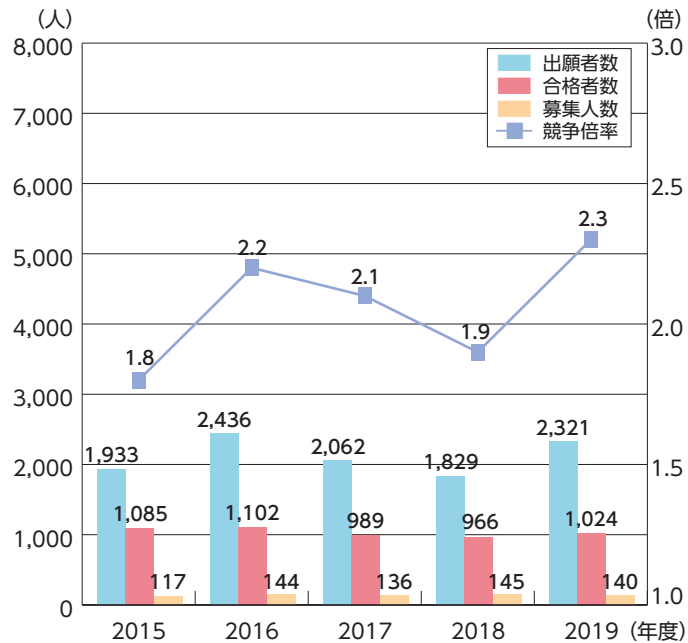
## 一般入試 (前期)



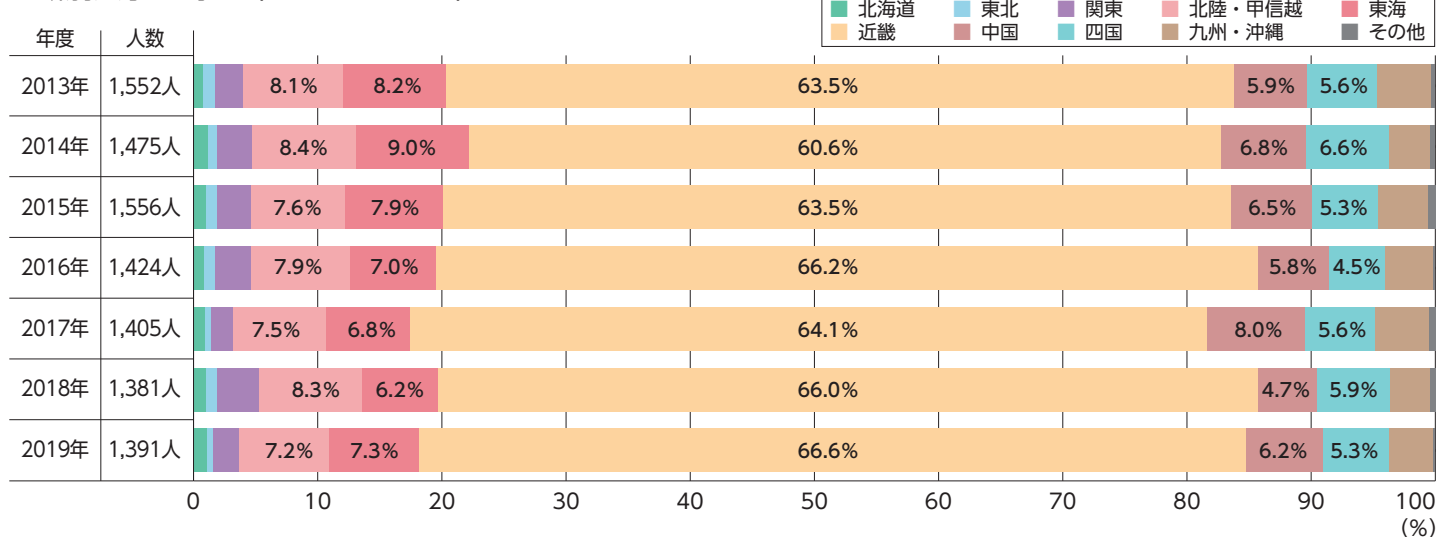
## 一般入試 (後期)



## 大学入試センター試験利用入試

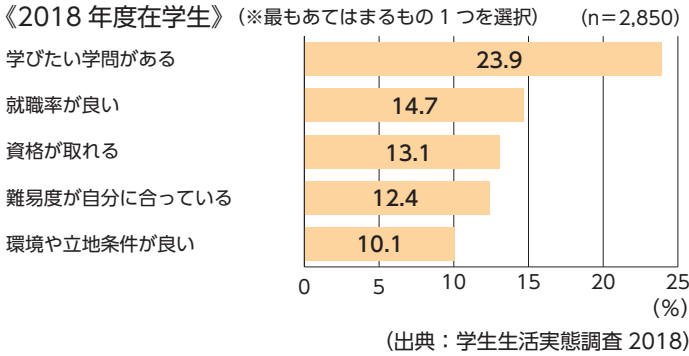
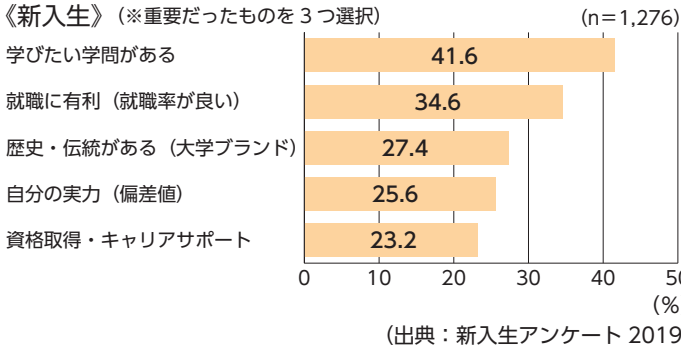


# 地域別入学者割合 (2013～2019)

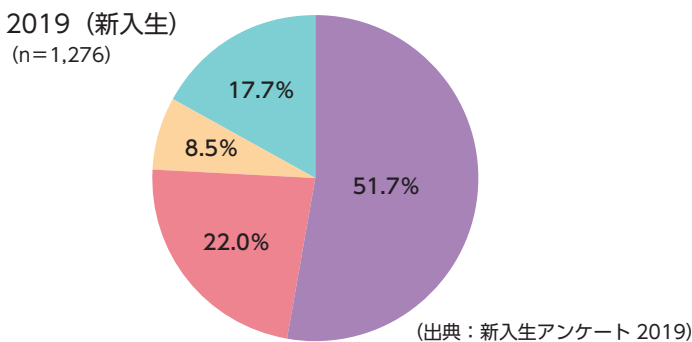
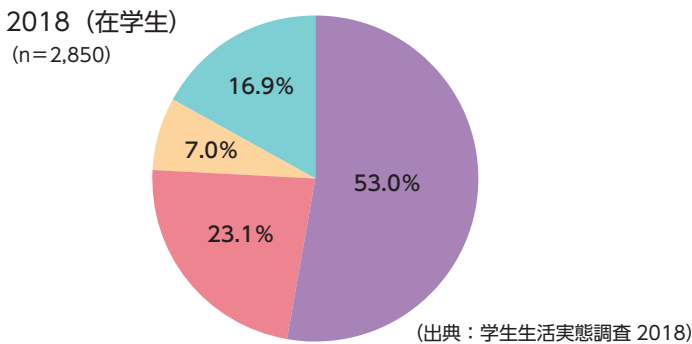
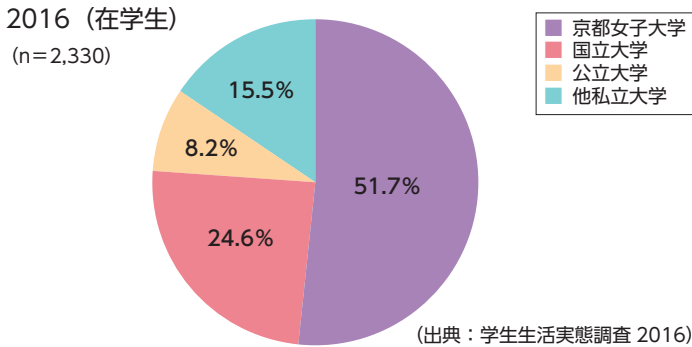


# ■ 入学者の状況

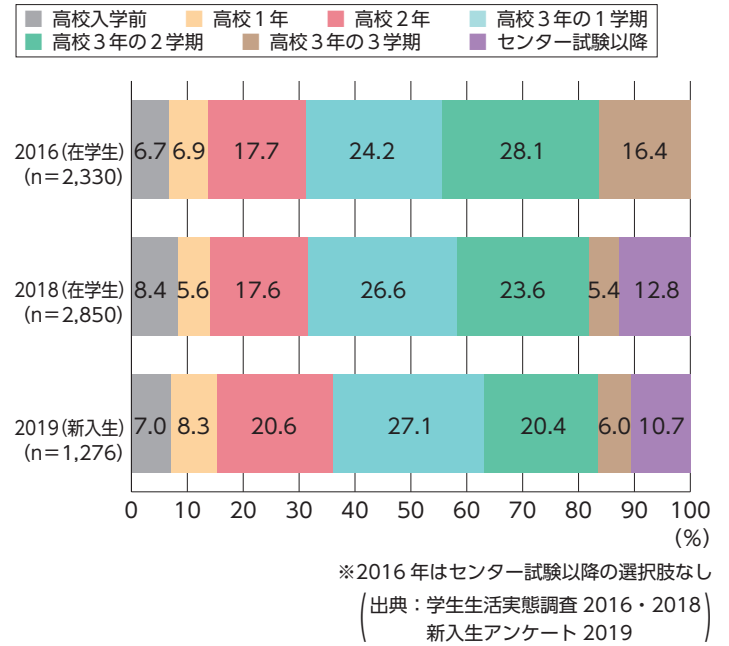
## 京女を選んだ理由 (TOP5)



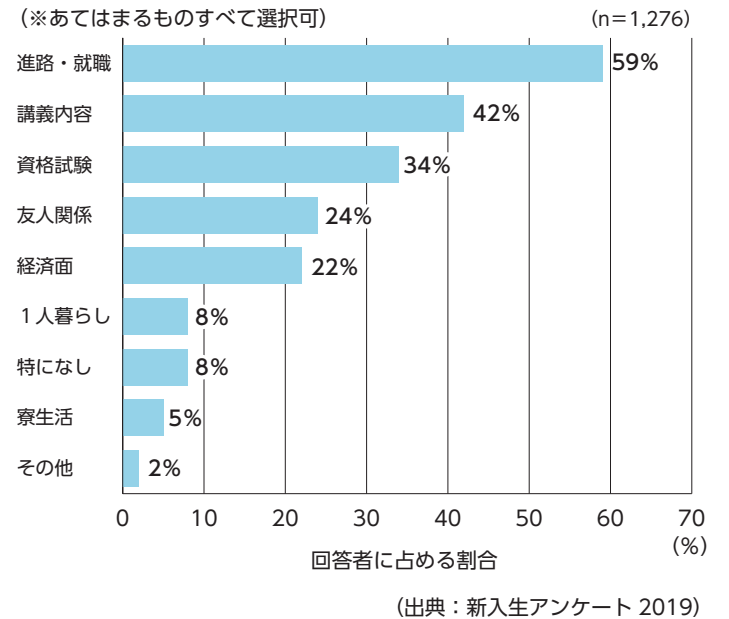
## 第一志望の割合



## 京女に興味を持ち始めた時期



## 大学生活における不安



## 《充実のサポート体制》

- ・アドバイザー制度
  - ・学生相談室
  - ・大学独自の奨学金制度
  - ・充実の就職支援体制 (年間行事開催数：147回)
  - ・大学企画の学生生活支援行事の開催 (下宿生対象新入生交流会、スポーツ大会・交流会 etc)
  - ・健康管理センター
  - ・オフィスアワーの実施
  - ・障がい学生支援チーム
  - ・マンツーマンの資格免許取得サポート体制
- (詳しくは大学ホームページ (<http://www.kyoto-wu.ac.jp>) をご覧ください)

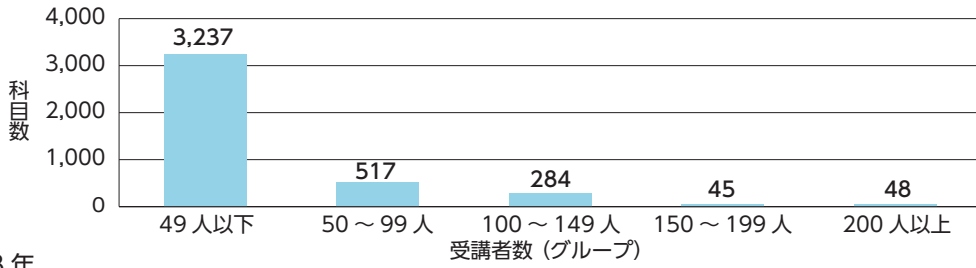
## 出典

学生生活実態調査 2016 (回答者数：2,330人 回答率：38.6%)  
 学生生活実態調査 2018 (回答者数：2,850人 回答率：48.5%)  
 新入生アンケート 2019 (回答者数：1,276人 回答率：91.7%)  
 (※学生生活実態調査は隔年で実施)

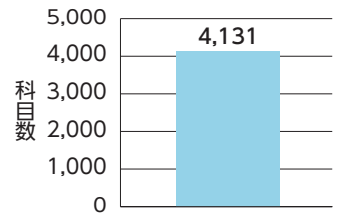
# 教育に関する情報

## 開講科目数と受講人数の状況

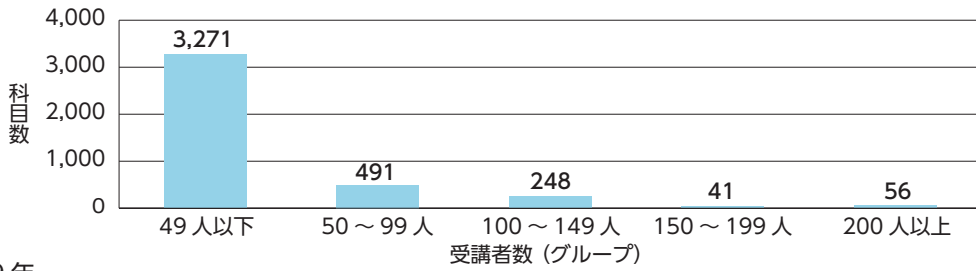
2017年



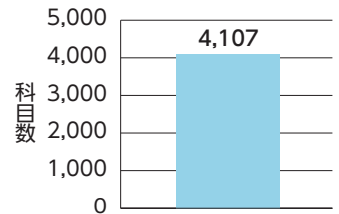
2017年合計



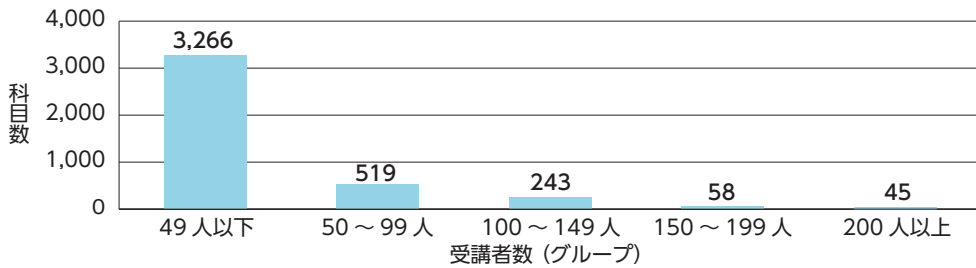
2018年



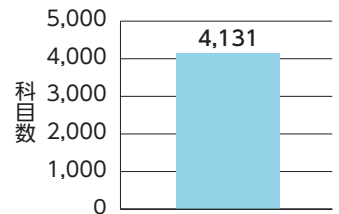
2018年合計



2019年



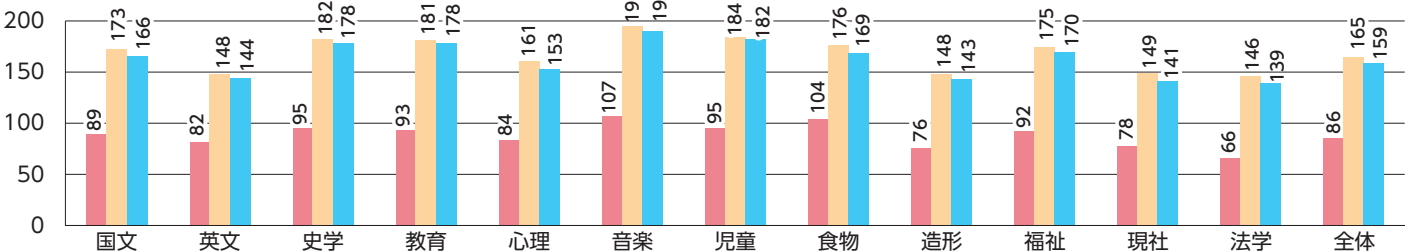
2019年合計



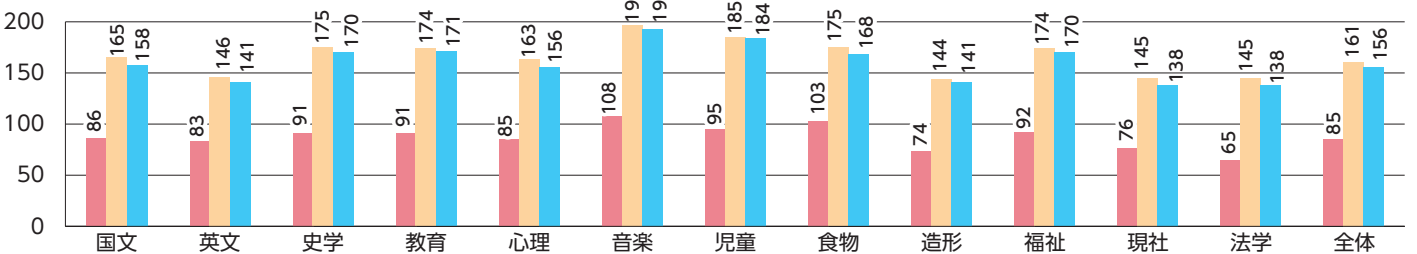
## 学科専攻別単位取得状況 (平均)

2016年度卒業生

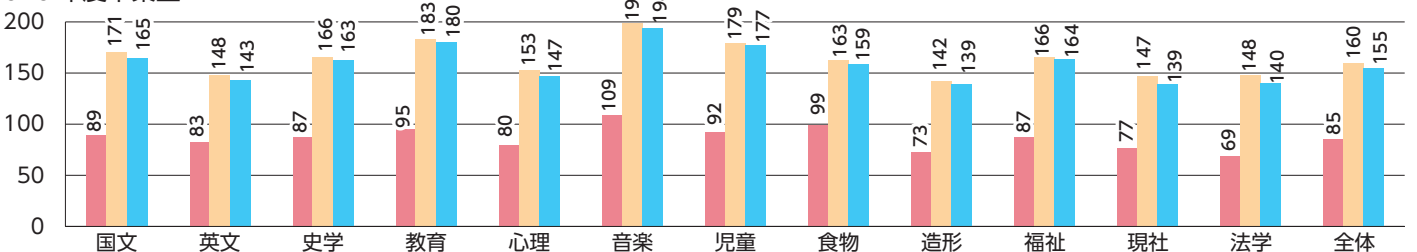
登録科目数 登録単位数 取得単位数



2017年度卒業生

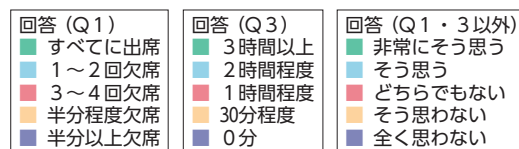


2018年度卒業生

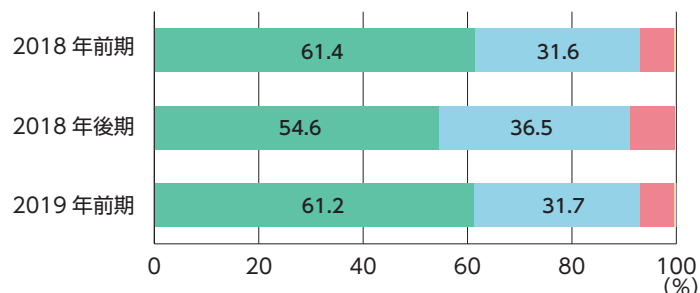


(※標準年限内(4年間)での卒業生のみ)

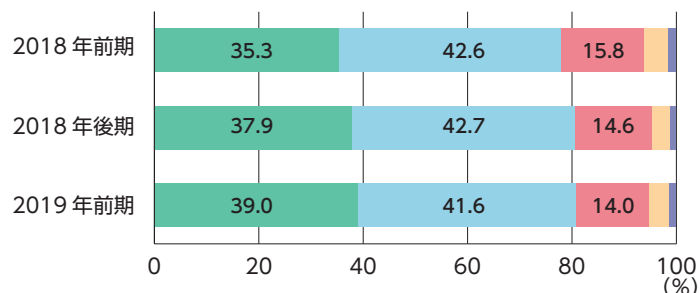
授業アンケート結果（2018 年前期・後期、2019 年前期）



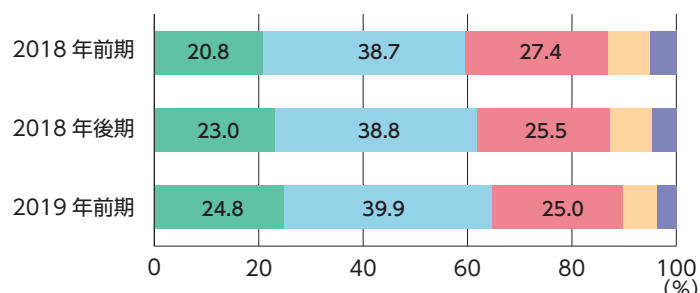
Q1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか



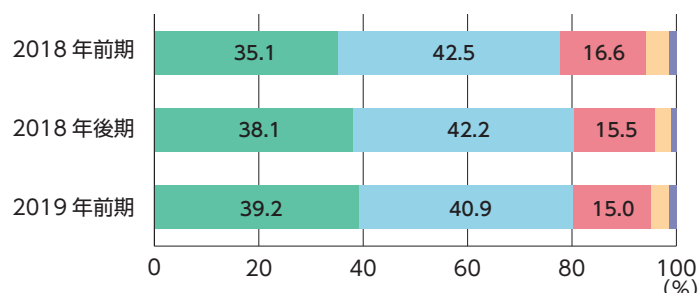
Q6 教員の説明や話し方はわかりやすかった



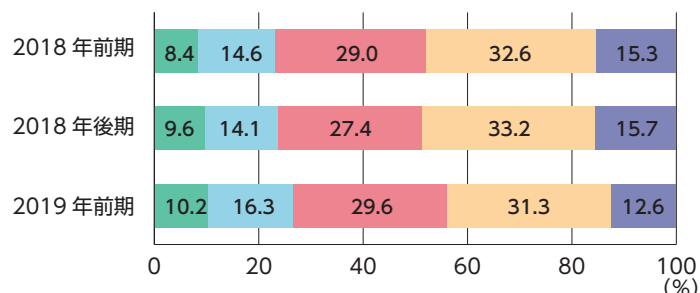
Q2 私は履修に際してシラバスを読んで役立てた



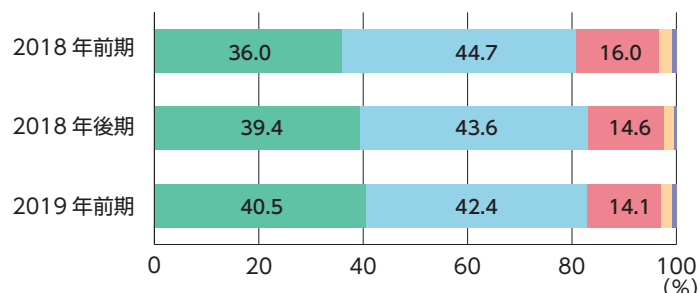
Q7 教員は学生の反応や理解を見ながら授業をすすめた



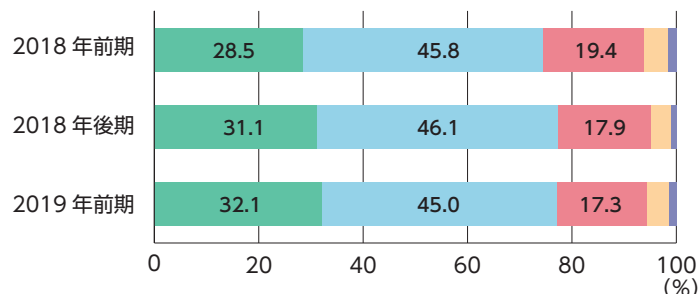
Q3 授業時間外に、課題やレポート作成、試験の準備等を含めてこの科目の学習に1週あたり平均どれくらいの時間を費やしましたか



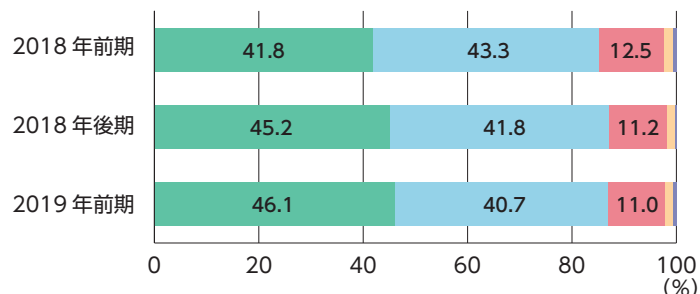
Q8 教員は私語等に適切に対応するなど、授業に集中できる環境に配慮した



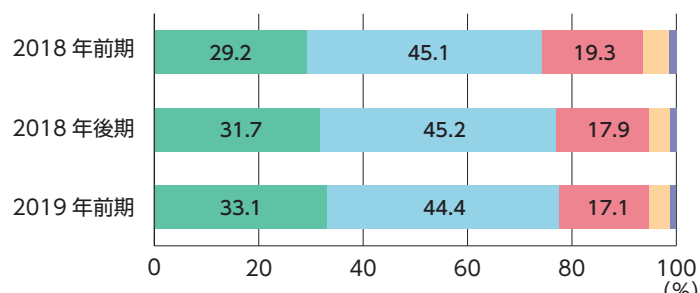
Q4 授業をきっかけに、この分野に興味や関心が深まった



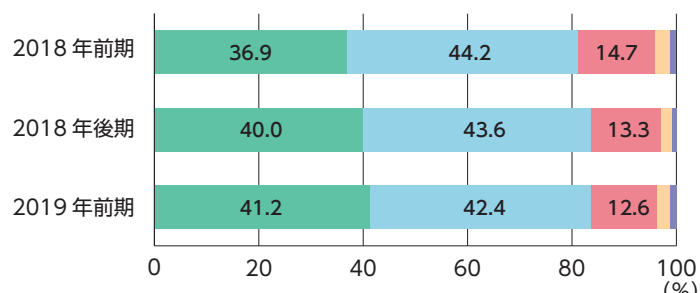
Q9 教員の授業に対する熱意を感じた



Q5 資料やテキストの内容は適切でわかりやすかった

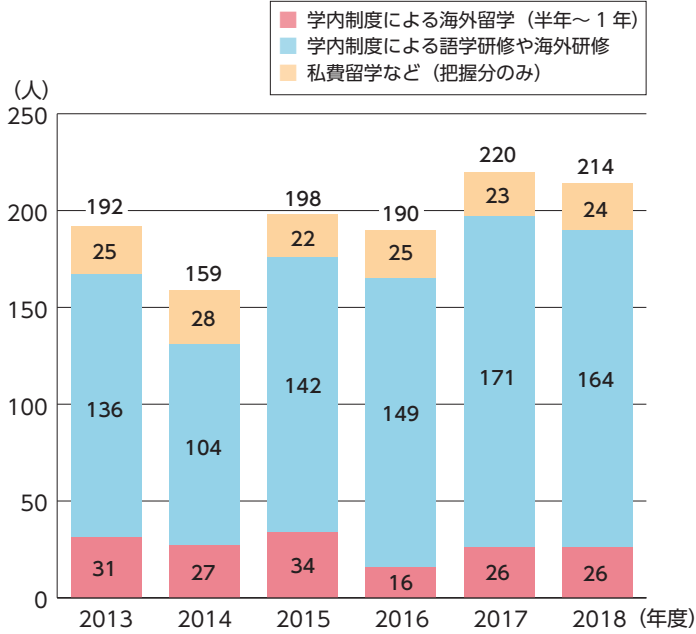


Q10 全体としてこの授業に満足できた

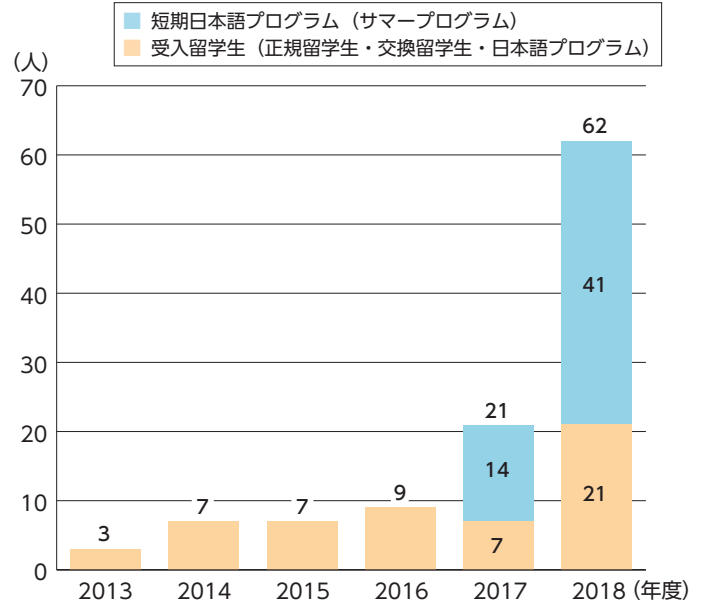


# グローバル

## 留学生の状況

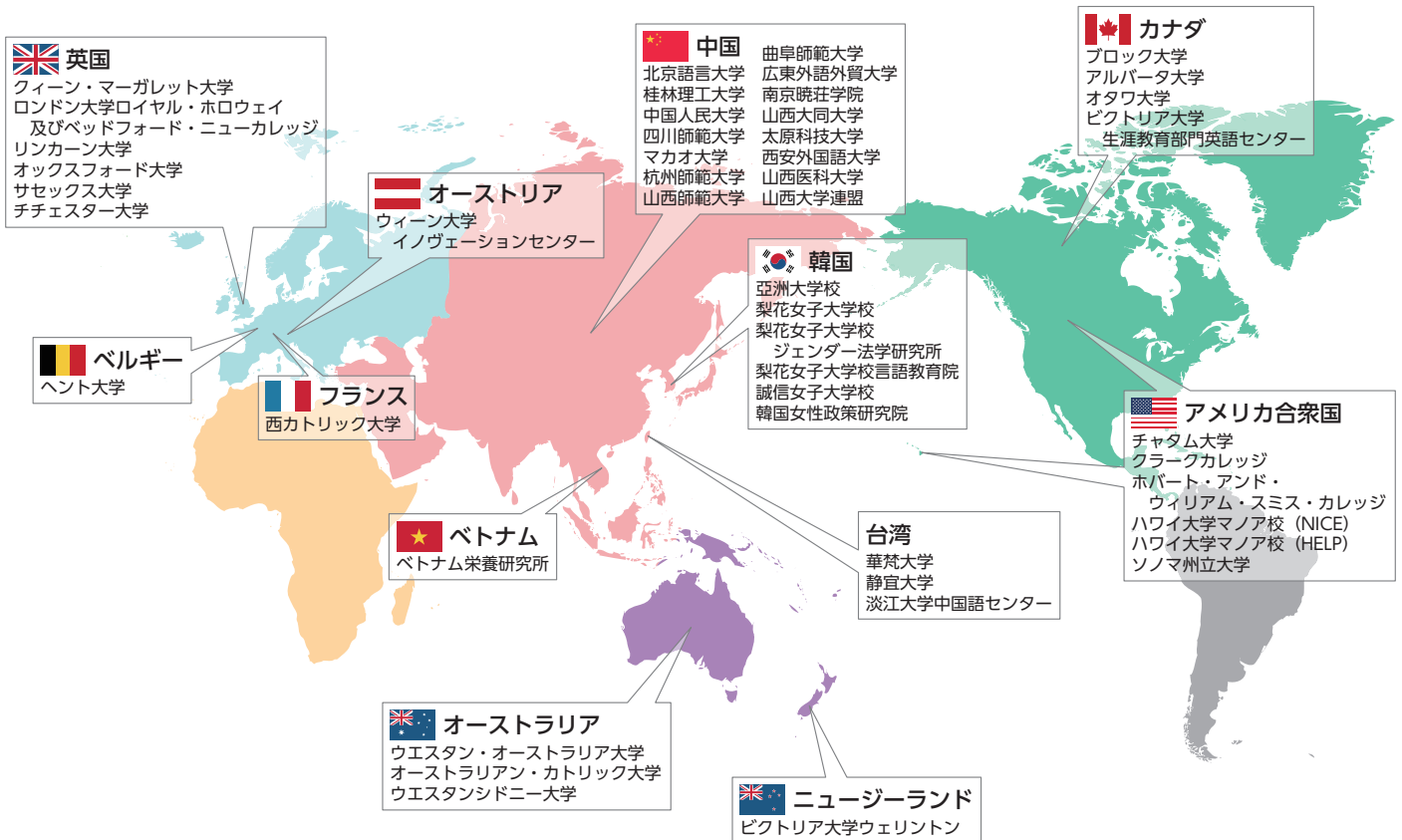


## 留学生受入状況



## 海外協定マップ

2020年1月現在



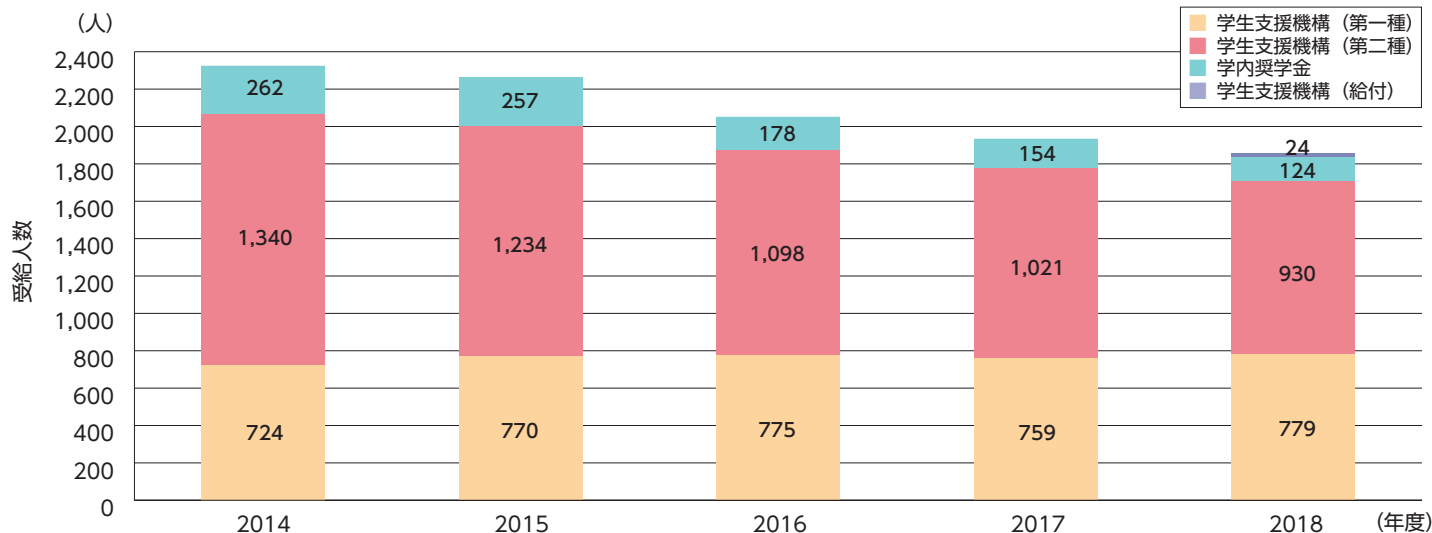
### 《TOPICS》

- 2017年に京都市補助事業「京(みやこ)グローバル大学」促進事業の一部採択を受けたことにより協定締結先の拡充を図り、協定校数は2016年度26校から2019年度1月には48校に増加。
- 2017年度より短期日本語プログラム(サマープログラム)、2018年度後期より長期日本語プログラムを開始したことにより、留学生受入人数が増加。また、これらのプログラム参加者から本学大学院に進学する学生も輩出。



# ■ 学生生活

## 奨学金受給状況 (2014～2018)

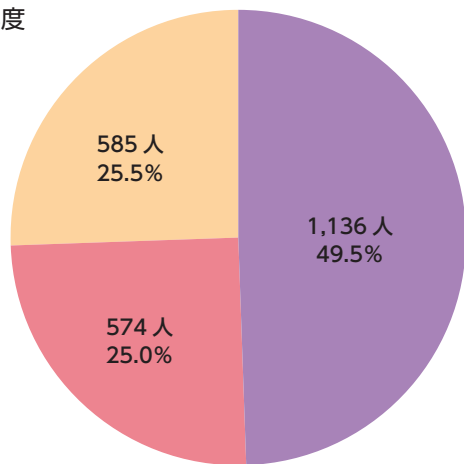


## クラブ・サークルの加入状況 (2016年度・2018年度)

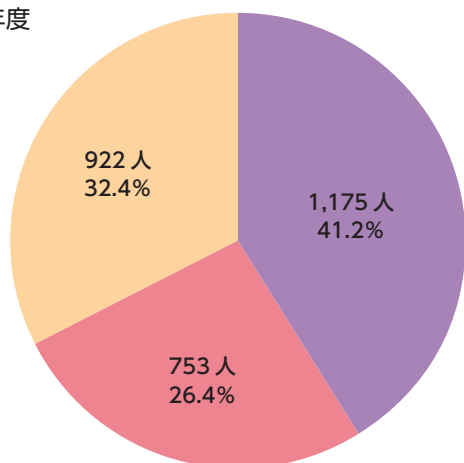
クラブ・サークルに所属していますか

- はい (本学のクラブ・サークル)
- はい (他大学のクラブ・サークル)
- いいえ

2016年度



2018年度



出典：学生生活実態調査 2016・2018

## 休学・退学者数

休学・退学者数 (人)

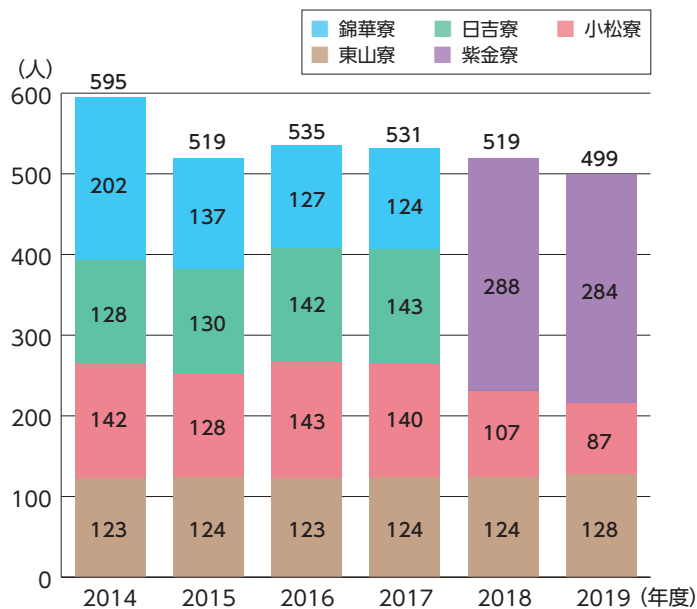
年度	休学者数	復学者数	退学者数	在学生数に対する退学率 (%)
2014	106	45	58	0.9
2015	116	52	52	0.8
2016	103	50	70	1.1
2017	96	60	38	0.6
2018	110	53	53	0.9
平均	106	52	54	0.86

※休学者・復学者・退学者は、重複して計上しているケースあり  
 ※除籍者がいる場合は退学者数に含めている

## 出典

学生生活実態調査 2016 (回答者数：2,330人 回答率：38.6%)  
 学生生活実態調査 2018 (回答者数：2,850人 回答率：48.5%)  
 (※学生生活実態調査は隔年で実施)

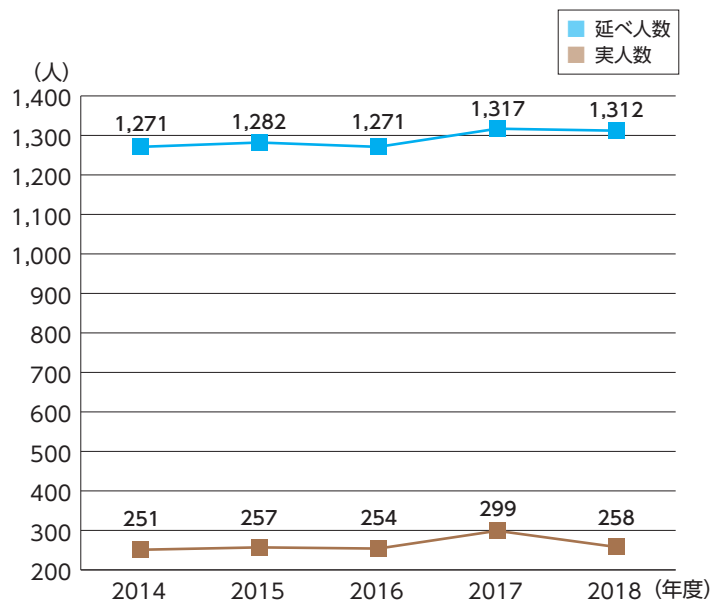
## 学寮在籍者数推移 (2014～2019)



※各年 4月1日現在の状況

※2018年紫金寮の新設（新設に伴い、錦華寮・日吉寮の寮生が紫金寮に移転）

## 学生相談室利用状況 (2014～2018)



※保護者・教職員を含む

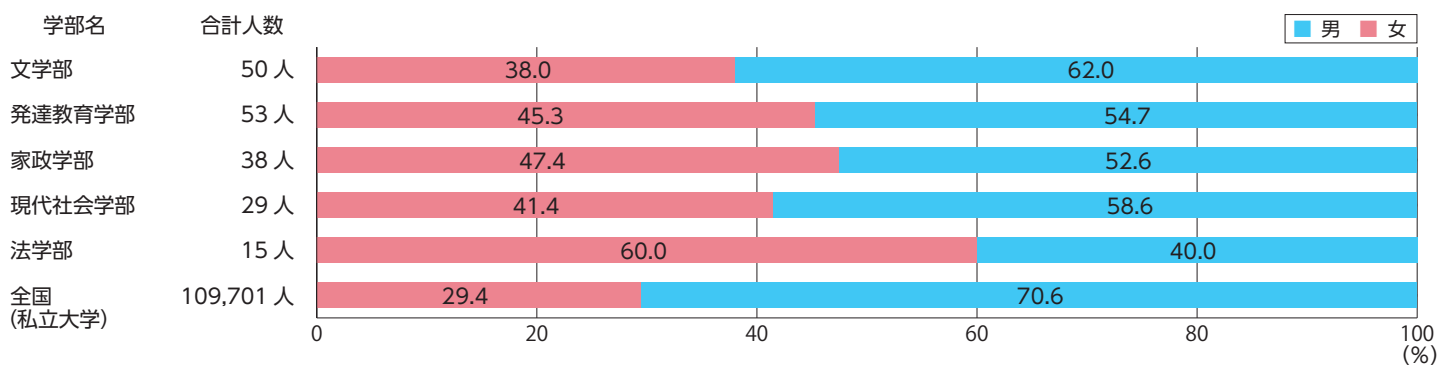
## 教員

### 教員の年齢構成と ST 比 (教員 1 人あたりの学生数)

2019年5月1日現在

	文学部	発達教育学部	家政学部	現代社会学部	法学部	合計 / 平均
20～29歳	0	0	0	0	0	0
30～39歳	4	0	2	4	3	13
40～49歳	17	10	7	9	3	46
50～59歳	20	26	17	14	2	79
60～69歳	9	17	8	2	7	43
70～	0	0	4	0	0	4
合計	50	53	38	29	15	185
ST 比	42.9	24.3	30.5	40	31.8	33.9

### 教員男女比率



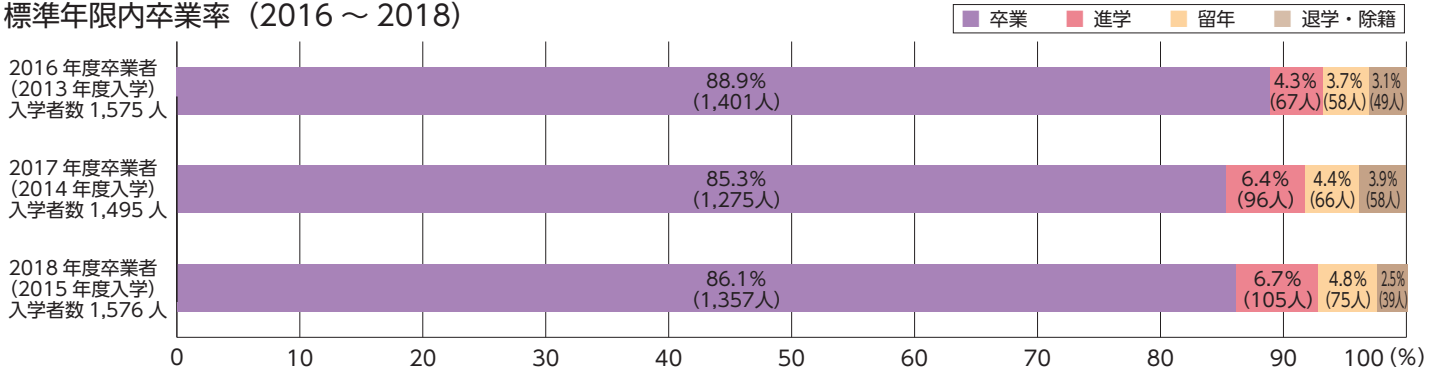
(出典：学校基本調査 2019)

### 《TOPICS》

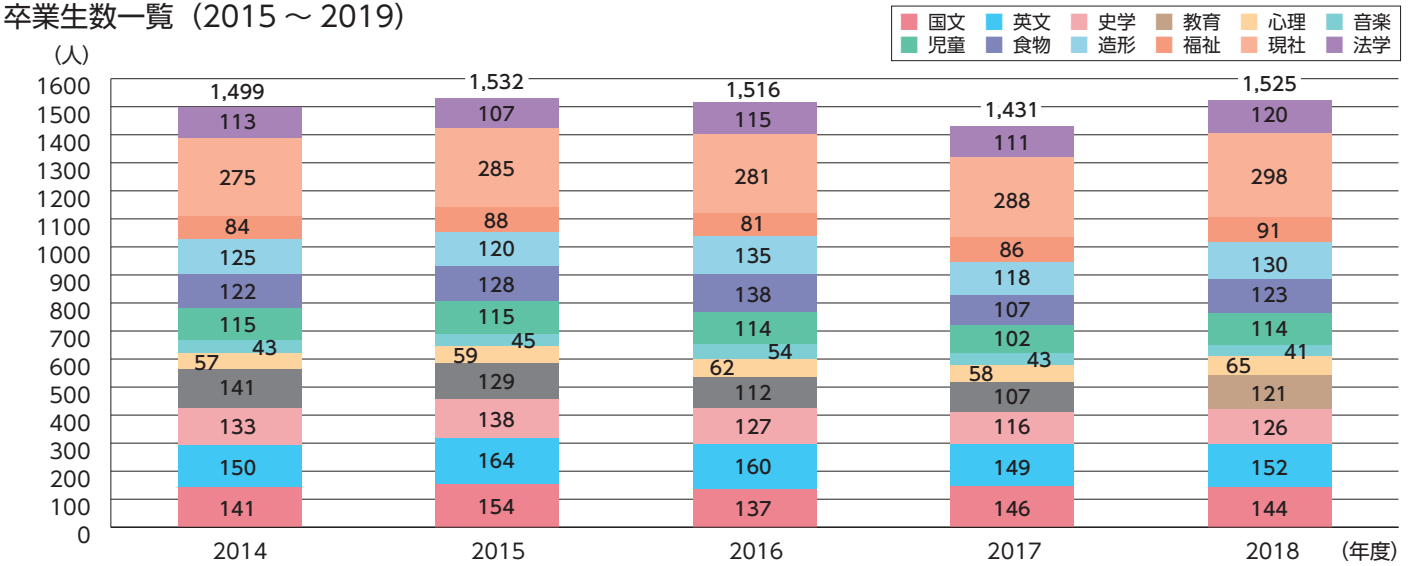
2020年度より既存の小松寮を留学生と本学寮生が共同生活を行う国際寮「KOMATSU」として開寮。本学で学ぶ留学生に安心・安全で経済的負担の少ない住まいを提供すると共に、日本人学生との交流や学びに集中できる環境を提供。

# 資格・免許取得状況

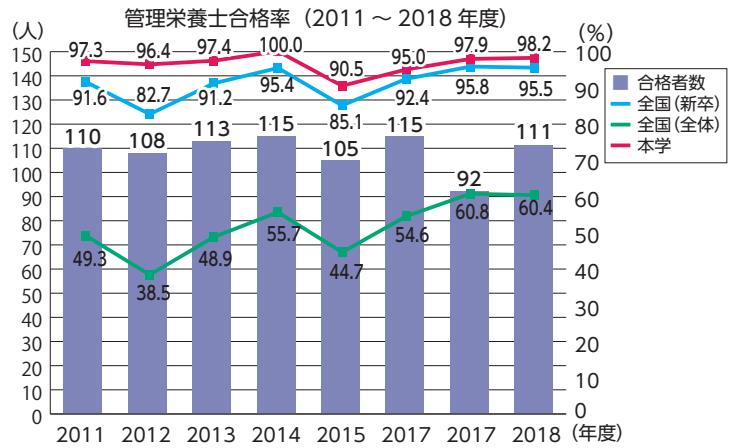
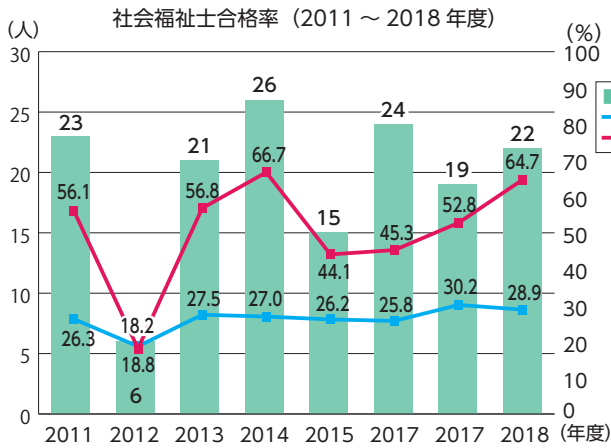
## 標準年限内卒業率 (2016 ~ 2018)



## 卒業生数一覧 (2015 ~ 2019)



## 国家試験合格率



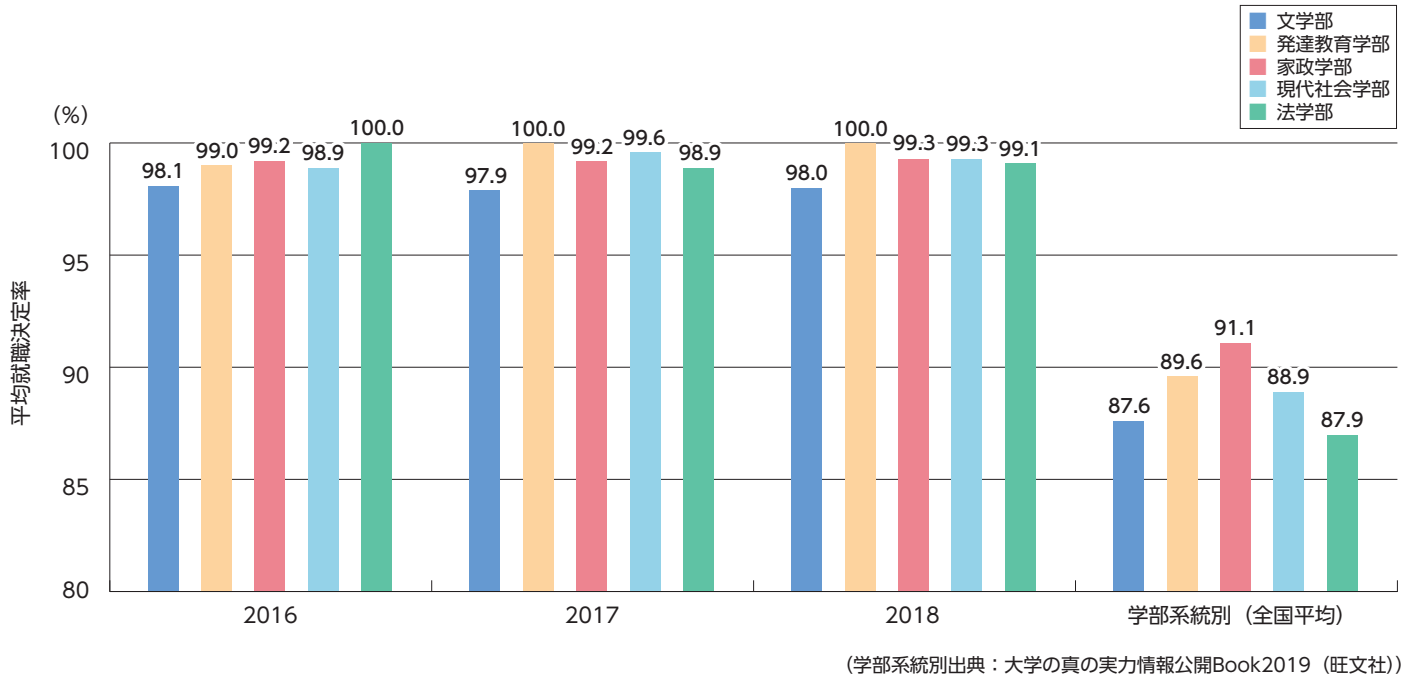
## 免許・資格取得者数および教員免許状取得者数 (2014 ~ 2018)

資格名	2014	2015	2016	2017	2018	合計
教員免許状	483	465	459	395	438	2,240
教員免許状 (副免許取得件数含む)	900	864	865	690	790	4,109
司書教諭	77	60	56	38	41	272
司書	99	91	83	83	75	431
博物館学芸員	80	57	77	54	68	336
社会教育主事	7	10	14	4	21	56
保育士	108	108	111	98	109	534
栄養士	120	124	135	102	120	601
管理栄養士 (受験資格)	115	116	122	96	113	562
食品衛生管理者・食品衛生監視員	111	118	135	103	113	580
衣料管理士	21	32	35	23	32	143
2級建築士・木造建築士 (受験資格)	43	40	55	59	66	263
1級建築士 (受験資格)	28	24	39	31	33	155
介護福祉士	26	15	11	9	11	72
社会福祉士 (受験資格)	44	39	33	40	33	189
情報処理士	156	129	85	78	75	523
上級情報処理士	21	18	15	8	12	74
社会調査実務士	7	12	6	4	14	43

※受験資格と記載の資格は、国家試験等を受験し、合格することで資格取得することが可能

# 進路・就職

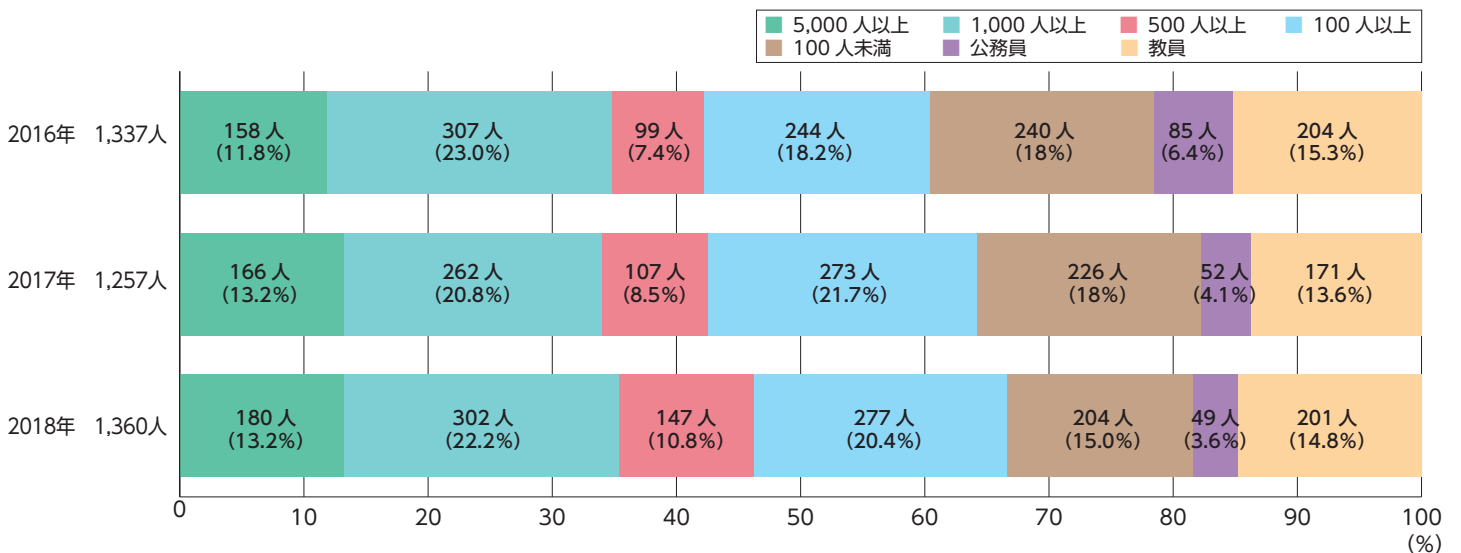
## 学部別就職決定率 (2016～2018)



## 業種別就職者状況 (2016～2018)

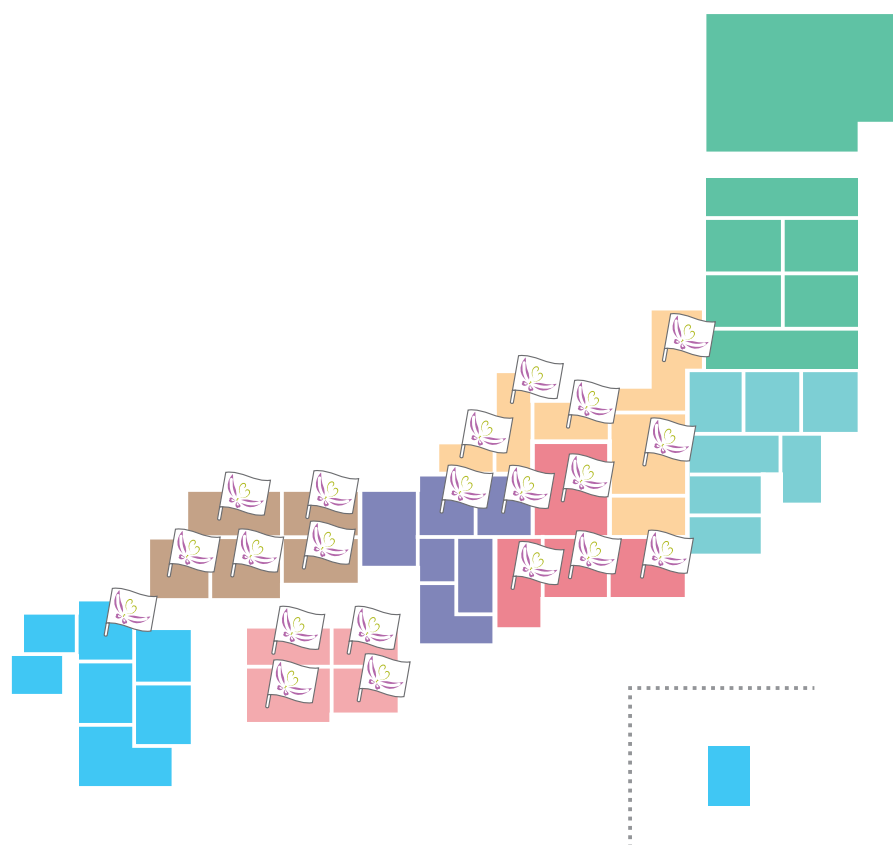
年度		農業・林業	漁業	砂利採取業	鉱業、採石業	建設業	製造業	供給・水道業	電気・ガス・熱	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業・保険業	賃貸業	不動産業、物品	技術サービス業	学術研究専門・	ビジネス業	宿泊業、飲食サ	ス業、娯楽業	生活関連サ	業	教育、学習支援	医療、福祉	複合サービス業	サービス業	公務	合計
		2016	人数(人)	—	—	—	45	128	1	77	45	204	216	29	46	21	28	238	110	24	58	67	1,337					
2016	割合(%)	—	—	—	3.4	9.6	0.1	5.8	3.4	15.3	16.2	2.2	3.4	1.6	2.1	17.8	8.2	1.8	4.3	5.0	100.0							
2017	人数(人)	1	—	—	44	128	—	97	34	168	197	32	57	31	23	208	98	24	73	42	1,257							
2017	割合(%)	0.1	—	—	3.5	10.2	—	7.7	2.7	13.4	15.7	2.5	4.5	2.5	1.8	16.5	7.9	1.9	5.8	3.3	100.0							
2018	人数(人)	—	—	—	45	144	2	133	38	207	193	33	36	28	25	235	116	22	61	42	1,358							
2018	割合(%)	—	—	—	3.3	10.6	0.1	9.8	2.8	15.2	14.2	2.4	2.6	2.1	1.8	17.3	8.5	1.6	4.5	3.1	100.0							
合計	人数(人)	1	—	—	134	400	3	307	117	579	606	94	139	80	76	681	324	70	192	151	3,952							
合計	割合(%)	0.03	—	—	3.4	10.1	0.07	7.8	3.0	14.7	15.3	2.4	3.5	2.0	1.9	17.2	8.2	1.8	4.8	3.8	100.0							

## 事業規模別就職状況の推移 (2016～2018)



年度	国家公務員	地方公務員															公務員合計
		専任								非専任							
		都道府県市町村職員	警察官警察事務	司書	学芸員	保育士	管理栄養士・栄養士	その他 (社会福祉士等)	地方公務員 (専任)小計	都道府県市町村職員	司書	学芸員	保育士	管理栄養士・栄養士	その他 (社会関連指導員等)	地方公務員 (非専任)小計	
2016	4	40	7	1	1	13	4	4	70	3	1	0	5	1	1	11	85
2017	5	19	12	0	0	8	1	2	42	2	0	0	2	0	1	5	52
2018	2	24	7	0	0	7	2	1	41	2	0	0	0	1	3	6	49

就職協定締結先自治体の状況 (2019年10月現在)



自治体名	協定締結日
徳島県	2012(平成24)年10月
長野県	2013(平成25)年2月
愛媛県	2014(平成26)年3月
香川県	2014(平成26)年8月
山口県	2015(平成27)年3月
鳥取県 ※就職支援を含む包括協定	2015(平成27)年6月
石川県	2015(平成27)年7月
福井県	2015(平成27)年11月
静岡県	2016(平成28)年2月
広島県	2016(平成28)年5月
新潟県	2016(平成28)年6月
滋賀県	2016(平成28)年6月
岡山県	2016(平成28)年12月
福岡県	2016(平成28)年12月
岐阜県	2017(平成29)年11月
三重県	2018(平成30)年3月
京都府	2018(平成30)年7月
島根県	2018(平成30)年11月
富山県	2018(平成30)年11月
愛知県	2018(平成30)年12月
高知県	2018(平成30)年12月

《TOPICS》

—学生のUターン・Iターン就職促進を目的に地方自治体と就職協定を締結—

地元で就職を希望する学生に対し、県主催の就職説明会や県内企業のインターンシップ受け入れに関する情報提供、学内就職支援イベント等の開催など、Uターン・Iターン・Jターン就職支援・促進に向けた取り組みを県と連携して行っている。

**Uターン・Iターン・Jターン就職とは**

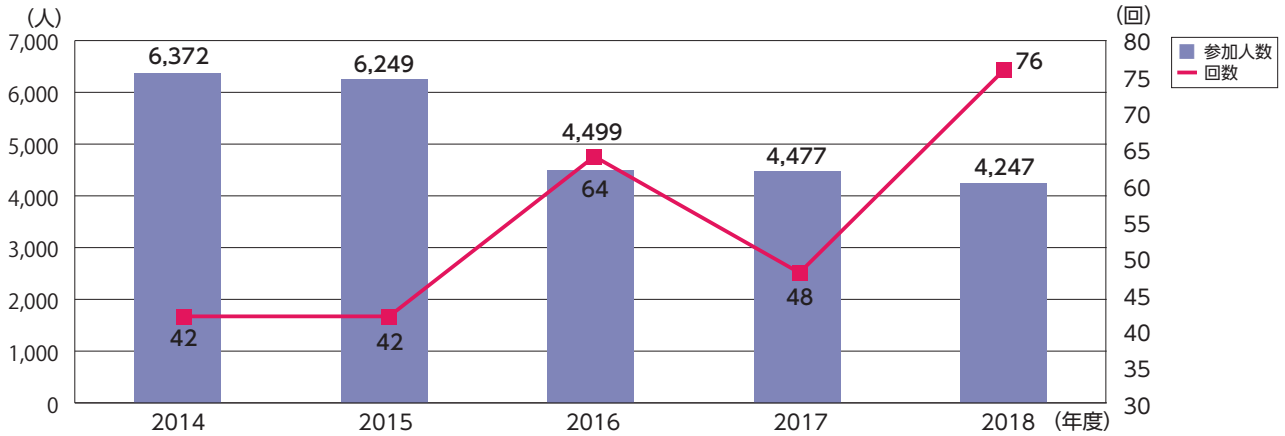
Uターン就職…地方で生まれ育った人が県外の学校へ進み、卒業後に出身地に戻って就職すること

Iターン就職…都市部出身の学生が地方の企業に就職すること

Jターン就職…地方出身の学生が県外の学校へ進み、卒業後に出身地とほど近い地域に戻って就職すること

## 社会貢献

公開講座開催回数参加延べ人数（2014～2018）

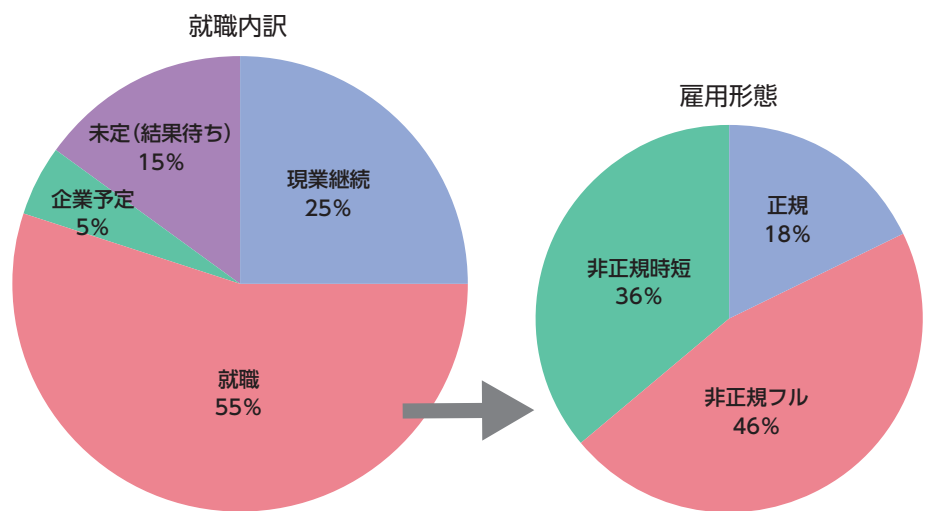


リカレント履修者数

年度	履修人数
2018	20名
2019	19名

※ 2018年度よりリカレント教育課程を開設

リカレント教育課程履修者就職決定状況（2018年度受講生）



### 《リカレント教育とは…》

職業人を中心とした社会人に対して、学校教育の終了後、一旦社会に出てから行われる教育。職場を離れて行われるフルタイムの再教育のみならず、職業に就きながら行われるパートタイム教育も含む。

(出典：2018年11月中央教育審議会「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」)

なお、本学では、100年余の女子教育の実績を活かし、女性に寄り添い、エンパワーメントの視点を活かした実践的できめ細かなサポート体制を有するリカレント教育プログラムを展開。

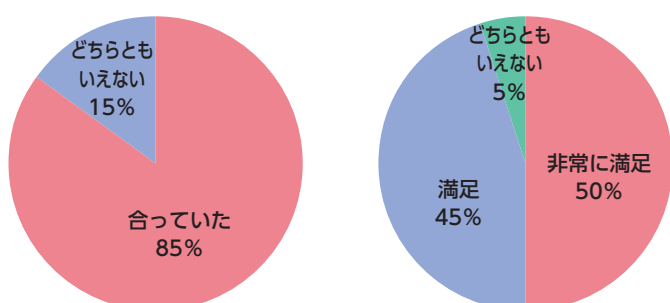
### 《TOPICS》

厚生労働省の「教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）」の講座指定（2019年10月より）

文部科学省の「職業実践力育成プログラム（BP）」の認定（2018年12月20日付）

リカレント教育課程満足度（2018年度受講生）

〈実際の学びが目的に合っていたか〉 〈リカレント教育課程は全体に満足できたか〉

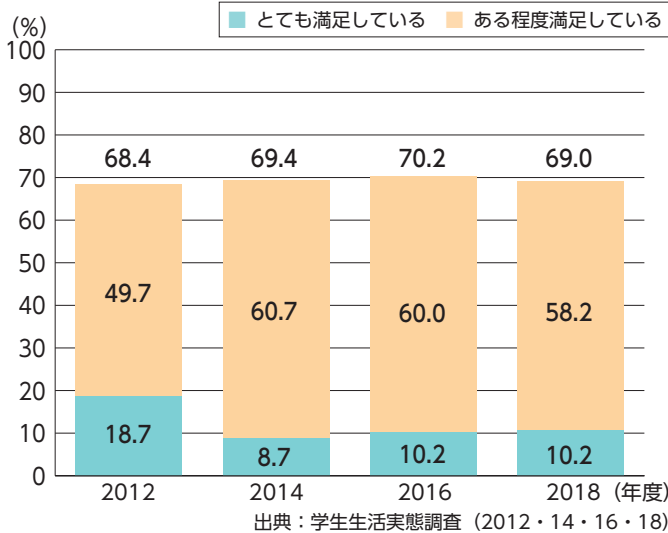


### 受講生の声（一部を掲載）

- ・自分自身がこれからのライフプランを立ち止まって見直す良い機会になった。まさにリボン（生まれ変わり）が出来た半年間であった。
- ・課題の大変さはあったが、仲間と教え合い、励ましあい学んでいくのが楽しかった。仲間がいたから、最後まで頑張れたのだと思える素晴らしい出会いを得た。
- ・講座を受講し、夫との会話の幅が広がり、子育て意外にも共通の話題が増えて、コミュニケーションが楽しくなった。

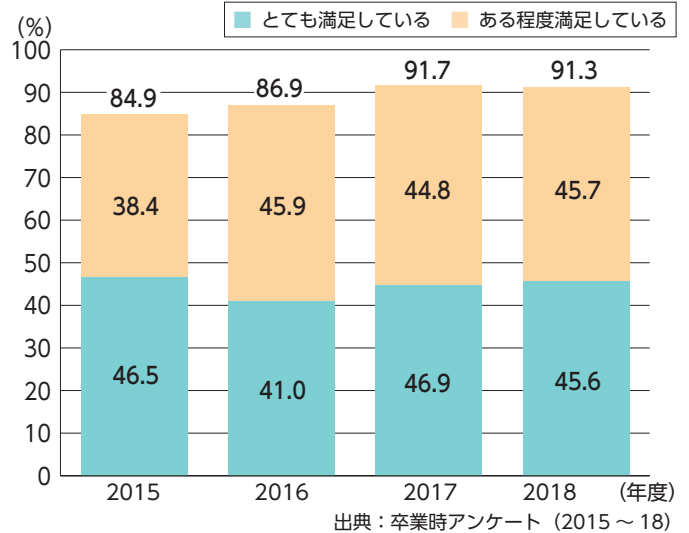
# アンケート・調査からみる京女生の実態

## 在学生満足度



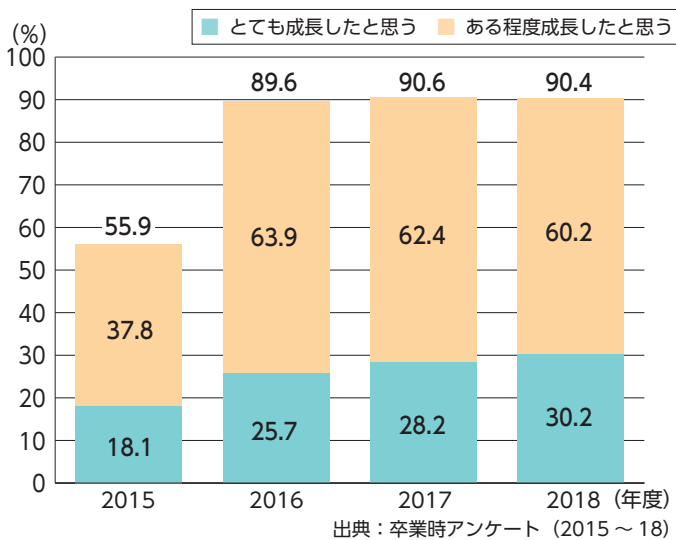
学生生活実態調査は隔年で実施  
 選択肢「1. とても満足している 2. ある程度満足している 3. どちらともいえない  
 4. あまり満足していない 5. まったく満足していない」のうち1と2の合計

## 卒業時満足度



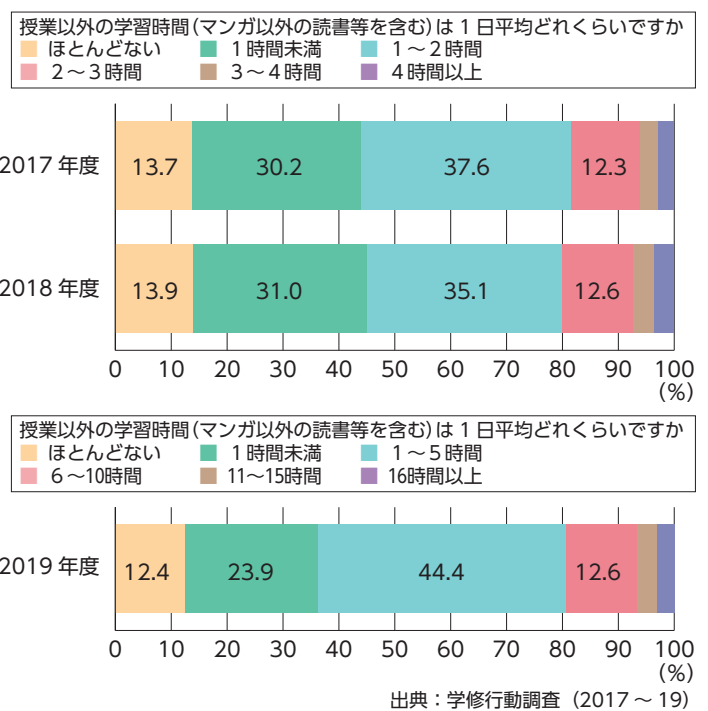
選択肢「1. とても満足している 2. ある程度満足している 3. どちらともいえない  
 4. あまり満足していない 5. まったく満足していない」のうち1と2の合計

## 卒業時成長実感

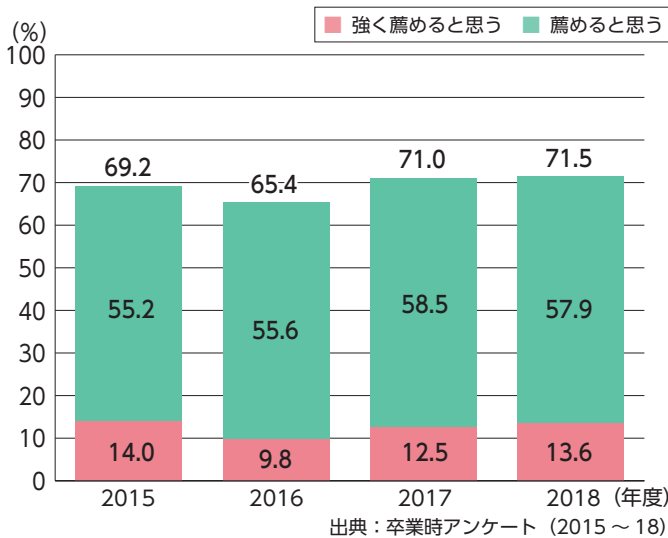


選択肢「1. とても成長したと思う 2. ある程度成長したと思う 3. どちらともいえない  
 4. あまり成長していない 5. まったく成長していない」のうち1と2の合計

## 授業外学習時間



## 京女推奨度



選択肢「1. 強く薦めると思う 2. 薦めると思う 3. どちらともいえない  
 4. あまり薦めないと思う 5. 薦めない」のうち1と2の合計

### 〈卒業時アンケート 回収数・率〉

年度	回収数	回収率 (%)
2015	1,116	74.0
2016	1,350	89.0
2017	1,300	91.4
2018	1,335	88.1

### 〈学生生活実態調査 回収数・率〉

年度	回収数	回収率 (%)
2012	2,651	35.3
2014	2,429	39.2
2016	2,330	38.6
2018	2,850	48.5

### 〈学修行動調査 回収数・率〉

年度	回収数	回収率 (%)
2017	5,786	97.4
2018	5,803	98.7
2019	5,475	95.4

## 実力をつけるのに役立つと感じているチカラ TOP10

1. 新しい知識や技術に幅広く興味をもつこと (70.9%)
2. ものごとをさまざまな視点から考えること (70.5%)
3. 社会常識を身につけること (69.3%)
4. 自分の意見や考え方をわかりやすく表現すること (68.7%)
5. 自分自身を見つめ直すこと (67.0%)
6. 相手の状況や考え方を考慮して話をしたり、対応すること (65.6%)
7. 自分の将来のキャリアプランを考えたり、作成すること (64.3%)
8. 社会に出て役立つ実用的な専門知識や技術を身につけること (64.2%)
9. 自分の好き嫌いの感情によらず相手の気持ちや立場をよく理解しうけとめること (62.3%)
10. ものごとを論理的・体系的に考えること (59.1%)

(※本学の授業や教育は、各実力をつけるのにどの程度役立つと思うかと設問に対して、選択肢 1. とても役立つ 2. やや役立つ 3. どちらともいえない 4. あまり役立つ 5. 全く役立つしないのうち、1、2の割合が高かった順に掲載) 出典：学生生活実態調査 2018

## 大学で身についたチカラ TOP10

1. 物事をさまざまな視点から考える力 (42.5%)
2. 専門分野の知識・技術を理解・習得する力 (38.2%)
3. 相手の意見を丁寧に聴く力 (35.0%)
4. 物事に進んで取り組む力 (33.2%)
5. 物事を論理的に考える力 (31.2%)
6. 意見の違いや立場の違いを理解する力 (29.3%)
7. 自分の意見をわかりやすく伝える力 (28.8%)
8. 社会のルールや人との約束を守る力 (26.5%)
9. 目的を設定し確実に行動する力 (24.0%)
10. 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力 (22.9%)

(※本学で学生生活を送って、どのようなこと・力が身についたか、あてはまるものすべてを選択)

出典：卒業時アンケート 2018

## 満足な点 TOP10

1. 資格取得 (30.0%)
2. 校風 (27.7%)
3. 立地・環境 (25.3%)
4. 講義内容 (22.5%)
5. 施設・設備 (22.2%)
6. 学生食堂 (18.0%)
7. 進路・就職支援 (16.4%)
8. クラブ・サークル (16.0%)
9. カリキュラム (12.4%)
10. 教員 (11.1%)

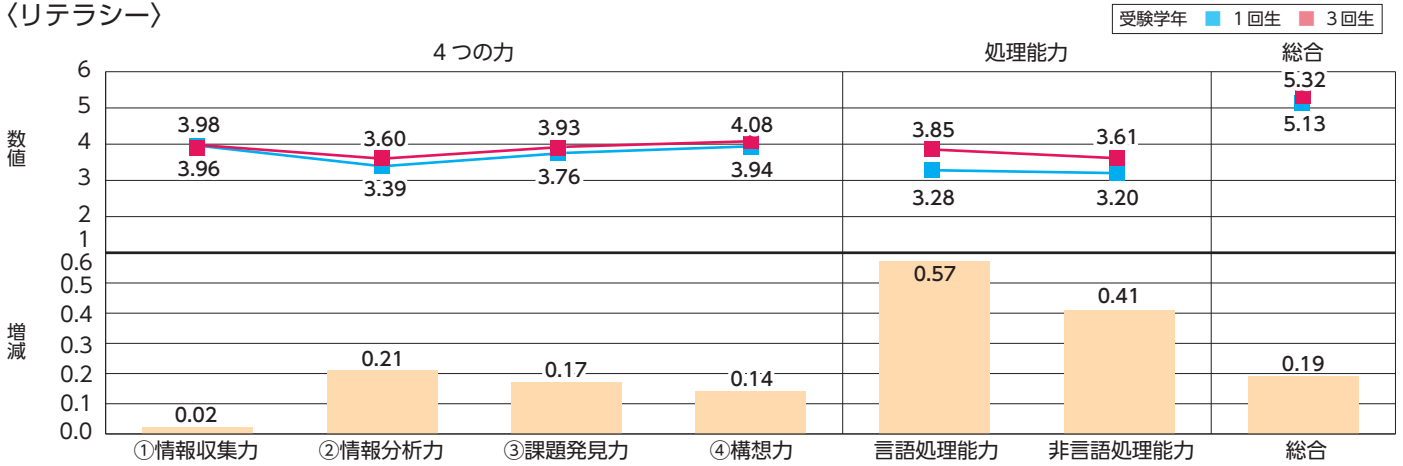
(※本学の満足な点を3つ以内で選択)

出典：学生生活実態調査 2018

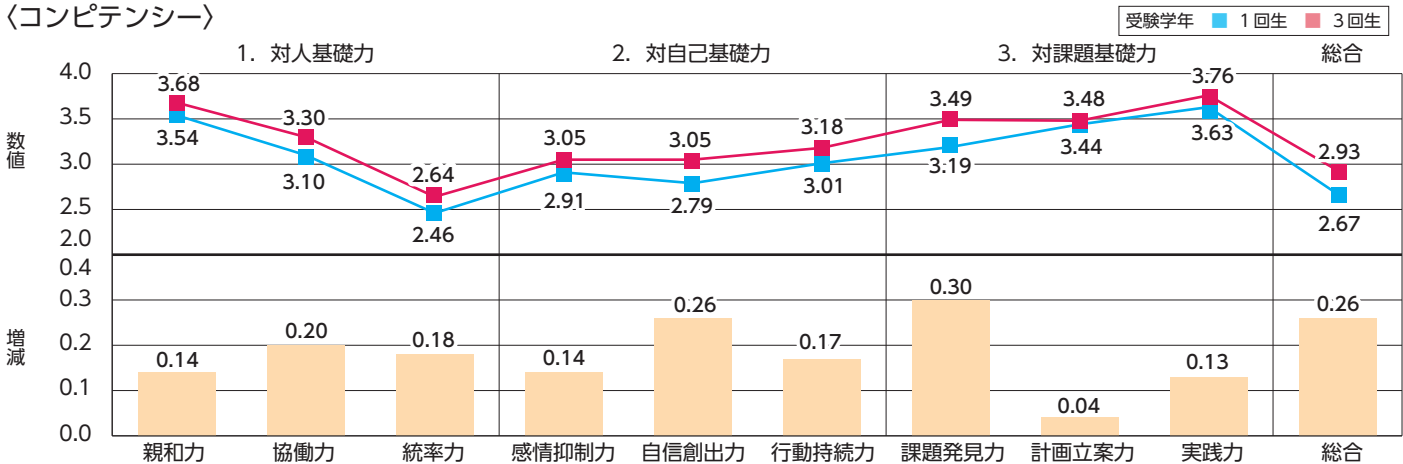


# ジェネリックスキル測定テスト結果

## 〈リテラシー〉



## 〈コンピテンシー〉



## 〈各能力の解説〉

親和力	多様な考えを受け入れ、相手の立場に立って考えることで信頼を引き出し人間関係を構築していく、また自分から多くの人と積極的に人間関係を築いていくチカラ
協働力	周囲と情報を共有し、周りの「やる気」を引き出して協力して課題に取り組み、またリーダーの立場からメンバーを誘導し、チームや後輩の意欲を高めしていくチカラ
統率力	異なる意見にも耳を傾ける一方で、自分の意見も主張しながら交渉や討議を建設的に進めていくチカラ
感情抑制力	ストレスのかかる場面でも自分の気持ちや感情を把握したうえで状況を前向きに捉え、困難に挑戦していくチカラ
自信創出力	自分の強みや弱みといった自身の特徴を理解し、自分に自信をもっていると同時に、機会を捉えて自分を向上させようとするチカラ
行動持続力	自分なりのルールや決まりをつくりながら、最後まで粘り強く責任をもって物事に取り組むチカラ／自分にとって必要だと思う事柄に継続して取り組んでいくチカラ
課題発見力	さまざまな角度から適切な情報源と手段で情報を収集し、広い視野から現象や事実をとらえ、そのメカニズムや原因について考察して解決すべき課題を発見するチカラ
計画立案力	さまざまな条件や制約を考慮しながら問題解決までのプロセスを構想し、その過程で想定されるリスクや対処方法を構想する力
実践力	目標達成に向けて自ら行動し、予測した先行きにに合わせて全体の動きを調整しながら早めに行動を修正し、実行するチカラ

## 学部別伸びた能力（コンピテンシー）ベスト3

学部名	1	2	3
文学部	課題発見力 (0.37)	協働力 (0.32)	自信創出力 (0.31)
発達教育学部	課題発見力 (0.30)	実践力 (0.29)	協働力 (0.14)
家政学部	統率力 (0.42)	課題発見力 (0.35)	自信創出力 (0.25)
現代社会学部	自信創出力 (0.37)	感情抑制力 (0.31)	行動持続力 (0.23)
法学部	協働力 (0.37)	課題発見力 (0.35)	自信創出力 (0.33)

※カッコ内は能力値の伸び（平均）

## 解説

—ジェネリックスキルとは—

専攻・専門に関わらず、大卒者として社会で求められる汎用的な能力・態度・志向をいう。ジェネリックスキルはリテラシー（知識を活用して問題を解決するスキル）とコンピテンシー（人と自分に最適な状況をもたらそうとするスキル）の2つから構成されている。本学ではこのジェネリックスキルを測定し、学生一人ひとりのスキルを可視化する取り組みを行っている。

## 成長の機会

年度	1	2	3
2015	卒業論文・制作を仕上げたこと	ゼミでの難しいテーマにチャレンジしたこと	就職活動
2016	卒業論文・制作を仕上げたこと	就職活動	学内の先輩・友人との人間関係
2017	卒業論文・制作を仕上げたこと	就職活動	学内の先輩・友人との人間関係
2018	卒業論文・制作を仕上げたこと	就職活動	ゼミでの難しいテーマにチャレンジしたこと

出典：卒業時アンケート（2015～18）



# 京都女子大学

Fact Book 2019

発行：2020年2月

発行者：総務部 大学IR室

<表紙デザイン>

京都女子大学生生活デザイン研究所